

令和2年度6月校内放送（朝礼）

令和2年6月12日（金）

みなさん、おはようございます。本日は外ではなく、校内放送を使って校長先生より話をさせていただきます。

本日は、学校祭に関わる話です。前回の朝礼の折に少し話をしましたが、その前後あたりから先生たちも今年はどうのように学校祭を行うのかを真剣に考えてきました。夏休みの期間が短縮され授業日となったことから、例年なら夏休み中に行う準備もできず、練習や準備の時間を十分にとって学校祭を迎えることができないので、今年に限っては練習や準備にあまり時間をかけない新しいスタイルを考える必要があることは前に話したとおりです。今日は現在の状況を踏まえてもう少し具体的な話をします。

まず、毎年行っている縦割りのブロック編成ですが、今年に限ってはなしとします。ブロックを編成することにより、100人近くの集団が生まれ、その人数で様々な練習や活動をすることは感染拡大を防止する観点からはすぐわないと考えたからです。また、授業時間を確保して、本年度中に行うべき学習内容を年度末までに終了することも理由の一つです。よって、特別に時間割を編成して行う練習時間を極力少なくして、例えば体育祭では学年内のクラス対抗にするなど、その練習時間の中でできる内容を先生や生徒会の皆さんで話し合いながら考えていきます。

次に合唱コンクールですが今年については実施できません。現在音楽の授業でも、感染予防の面から合唱など声を出して歌う活動を控えています。今後もしばらくはこの状況が続く中合唱の練習は難しいと考えたからです。また、文化祭の午後に行う予定であった芸術鑑賞会も実施しません。会場に一堂に会することを控えるためです。

一方、吹奏楽部の演奏、創作部や茶華道部の作品展示は、小さな単位での活動、制作までの計画を立ててみて可能であれば実施を検討していきたいと思います。学級旗制作についても同様です。その他昨年度まで実施していた内容で本年度実施が可能かどうか、また、本年度新しく行いたい内容などについては今後生徒会で検討してほしいと思います。

学校行事の中でも一番大きなものの一つとして先生たちも捉えている学校祭をこのように考えて計画しなくてはいけないのは寂しい思いがしますし、ましてや3年生にとっては、今年が最高学年として1、2年生をリードしながら最高のフェスティバルとしたいという意気込みであったと思います。

しかし、今年はコンパクトにしながらも今までと違う新しい取組であるという意識をもつとともに、今までにないオリジナルな学校祭にするんだという思いを

胸に計画や準備を進めていきましょう。次年度に延期となった東京オリンピックにおいても現在「簡素化」をテーマとして取組内容を検討することが新聞等でも報道されています。今後、特に生徒会役員の皆さんは、知恵を絞り、生徒会担当の先生とも話し合いをもちながら準備を進めてほしいと思います。

今年の実組は後で振り返ると逆に、とても思い出深い行事になると校長先生は信じています。学校祭本番では皆さんがともに充実感いっぱい一日を終えることができることを祈って校長先生からの話を終わります。